景況レポート
No. 155
2026年４月～６月期

北見しんきん
〒090-8711　北見市大通東１丁目２番地１
電　話（代）　０１５７-２４-７５３１
URL：https://www.shinkin.co.jp/kitami/
本レポートはホームページでもご覧になれます。

景　気　動　向

道内景気

日本銀行札幌支店が７月１日に発表した６月の企業短期経済観測調査結果（短観）によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数（ＤＩ：「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値）は全産業で『15』となり、前回の調査『14』から改善となっています。内訳では、製造業（前回５→今回９）は改善、非製造業（前回18→今回18）は横ばいでした。2026年９月までの全産業での先行き予測は９と、悪化の見通しです。

また７月１日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している。公共投資は、緩やかに増加している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。観光は、堅調に推移している。設備投資は、緩やかに増加している。輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。住宅投資は、弱めの動きとなっている。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。

【公共投資】　緩やかに増加している。

【個人消費】　百貨店、スーパー、コンビニエンスストアは、横ばい圏内の動きとなっている。ドラッグストアは、堅調に推移している。家電販売は、持ち直している。乗用車販売は、横ばい圏内の動きとなっている。サービス消費は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに増加している。

【観光】　堅調に推移している。

【新設住宅着工戸数】　持家、貸家は、弱めの動きとなっている。分譲は、下げ止まっている。

【生産（鉱工業生産）】　横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。

【雇用・所得情勢】　緩やかに改善している。

【消費者物価（除く生鮮食品）】　２％台前半のプラスとなっている 。

【企業倒産】　横ばい圏内の動きとなっている。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したＤＩ値は、売上高が▲15と２ポイントの悪化、収益は▲29と11ポイントの悪化でした。直前３ヵ月と比較した今後３ヵ月の見通しでは、売上ＤＩ値は▲10と10ポイント悪化、収益ＤＩ値は▲22と８ポイント悪化の見通しとなっています。

特別調査　【中小企業における価格転嫁について】

取引条件の適正化に向けた取組みが進む中で、原材料費や人件費の上昇に対しての価格転嫁は、収益確保と事業継続の観点から重要性が高まっています。そこで今回は、中小企業を対象に、価格転嫁の状況、価格交渉の実態、直面する課題、必要とする支援について尋ねました。

【原材料・仕入価格上昇分の販売価格への転嫁度合い】

価格転嫁できていると答えた企業は合計で９割を超えており、全国水準を上回りました。「80～100%程度転嫁できている（29.3%）」との回答が最も多く、以下「50～80%程度転嫁できている（19.9%）」、「20～50%程度転嫁できている（18.8%）」が続きました。

【労務費・人件費上昇分の販売価格への転嫁度合い】

「80～100%程度転嫁できている（24.8%）」との回答が最も多く、以下、「０～20%程度転嫁できている（18.8%）」、「20～50%程度転嫁できている（16.6%）」が続きました。８割近くの企業が何らかの価格転嫁を実施している結果となり、全国水準を上回りました。

【価格交渉・転嫁で重視する取組み】

「値上げの事前説明・周知（51.4%）」が他の選択肢を大きく引き離しました。 以下、「取引先との価格協議（35.4%）」、「競合他社の価格動向の把握（28.7%）」、「製品・商品・サービスの付加価値向上（18.8%）」が続きました。

【価格転嫁を進めるうえでの課題】

「値上げによる顧客離れや取引停止が心配（44.2%）」、「価格変更のタイミングが難しい（42.5%）」の２つに回答が集まっており、価格転嫁における主要な論点であることがうかがえます。

【行政に重視してほしい取組み】

「価格転嫁を促すガイドラインの強化・周知（33.2%）」が最も多く、全国水準も同様でした。以下、「特にない（31.5%）」、「業種ごとの標準的な価格転嫁ルールの作成（26.0%）」、「価格転嫁の根拠となる物価指数の提示（21.6%）」、「不公平な取引の取締りの強化（14.9%）」、「価格交渉・転嫁の事例共有（12.7%）」が続きました。

【近年、取引条件の適正化を促進する政策的な動きが活発化しています。貴社では、ここ数年(2020年ごろから)の原材料・仕入価格の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。下記の1～9の中から1つ選んでお答えください。】

		《全国》
1．100%転嫁できている	7.7%	5.8%
2．80～100%程度転嫁できている	29.3%	21.9%
3．50～80%程度転嫁できている	19.9%	23.0%
4．20～50%程度転嫁できている	18.8%	16.3%
5．０～20%程度転嫁できている	13.8%	17.5%
6．全く転嫁できていない	5.5%	6.9%
7．転嫁どころか販売価格は低下している	1.1%	0.7%
8．そもそも上昇していない	1.1%	1.8%
9．わからない	2.8%	6.1%

【貴社では、ここ数年(2020年ごろから)の労務費・人件費の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。下記の1～9の中から1つ選んでお答えください。】

		《全国》
1．100%転嫁できている	3.9%	3.8%
2．80～100%程度転嫁できている	24.8%	16.3%
3．50～80%程度転嫁できている	14.4%	19.8%
4．20～50%程度転嫁できている	16.6%	16.2%
5．０～20%程度転嫁できている	18.8%	19.3%
6．全く転嫁できていない	9.4%	12.0%
7．転嫁どころか販売価格は低下している	1.1%	0.6%
8．そもそも上昇していない	6.6%	5.1%
9．わからない	4.4%	6.8%

【貴社が取引先(販売先)との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組みは何ですか。以下の1～0の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。】

		《全国》
1．値上げの事前説明・周知	51.4%	48.6%
2．取引先との価格協議	35.4%	43.9%
3．競合他社の価格動向の把握	28.7%	27.7%
4．価格設定ルールの見直し	12.7%	12.8%
5．納期や個別ニーズ等への柔軟対応	11.6%	14.6%
6．製品・商品・サービスの付加価値向上	18.8%	19.4%
7．値引きや無償対応の防止	1.1%	4.6%
8．公的支援機関への相談の活用	0.0%	1.4%
9．その他	1.1%	0.6%
0．特にない	13.3%	11.8%

【貴社が価格転嫁を進めるうえでの課題は何ですか。以下の1～0の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。】

		《全国》
1．競合他社が値上げしていない	14.9%	13.7%
2．取引先が値上げ交渉に応じない	5.0%	10.6%
3．値上げによる顧客離れや取引停止が心配	44.2%	44.8%
4．値上げの根拠となる説明資料が足りない	5.0%	5.7%
5．従来からの価格が固定化している	9.9%	16.6%
6．価格変更のタイミングが難しい	42.5%	40.2%
7．価格交渉ができる人材がいない	3.9%	3.7%
8．業務多忙のための対応する余裕がない	1.1%	4.2%
9．その他	1.1%	1.2%
0．特に課題はない	22.1%	18.0%

【今後、貴社が円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で、行政に重視してほしいと感じる取組みはありますか。以下の1～0の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。】

		《全国》
1．価格転嫁を促すガイドラインの強化・周知	33.2%	39.3%
2．価格転嫁の根拠となる物価指数の提示	21.6%	23.5%
3．価格交渉に関する相談窓口の充実	5.0%	8.2%
4．価格交渉・転嫁の事例共有	12.7%	13.8%
5．業種ごとの標準的な価格転嫁ルールの作成	26.0%	22.4%
6．不公平な取引の取締りの強化	14.9%	16.2%
7．大企業への指導・監督の強化	11.6%	15.4%
8．紛争時における仲介機能の強化	2.2%	3.4%
9．その他	1.1%	1.1%
0．特にない	31.5%	23.0%

売　　上

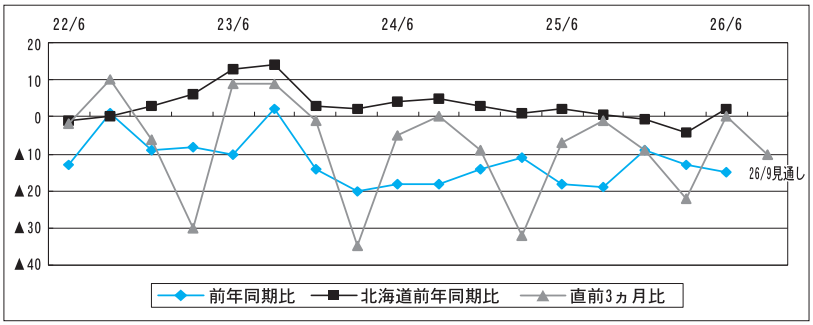
調査対象先企業181社の売上を総体的にみますと、前年同期（25年４～６月）と比較して「増加」した先23%、「変らず」の先39%、「減少」した先38%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲15となり、前回調査より２ポイント悪化しました。

業種別でみますと、卸売業、小売業、サービス業は改善、製造業、建設業は悪化となっています。

３ヵ月毎の比較では改善、今後３ヵ月は悪化の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に行った全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、１ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。

売上　　ＤＩ値図表



調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6
前年同期比	▲ 13	1	▲ 9	▲ 8	▲ 10	2	▲ 14	▲ 20	▲ 18	▲ 18	▲ 14	▲ 11	▲ 18	▲ 19	▲ 9	▲ 13	▲ 15

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6
北海道前年同期比	▲ 1	0	3	6	13	14	3	2	4	5	3	1	2	1	▲ 1	▲ 4	2

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6	26/9見通し
直前３ヵ月比	▲ 2	10	▲ 6	▲ 30	9	9	▲ 1	▲ 35	▲ 5	0	▲ 9	▲ 32	▲ 7	▲ 1	▲ 9	▲ 22	0	▲ 10

収　　益

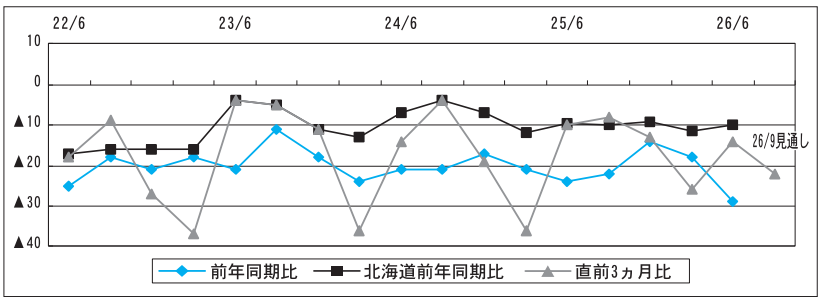
調査対象先企業181社の収益を総体的にみますと、前年同期（25年４～６月）と比較して「増加」した先15%、「変らず」の先41%、「減少」した先44%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲29となり、前回調査より11ポイント悪化しました。

業種別でみますと、卸売業は改善、製造業、小売業、建設業、サービス業は悪化となっています。

３ヵ月毎の比較では改善、今後３ヵ月は悪化の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に行った全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、１ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。

収益　　ＤＩ値図表



調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6
前年同期比	▲ 25	▲ 18	▲ 21	▲ 18	▲ 21	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 21	▲ 21	▲ 17	▲ 21	▲ 24	▲ 22	▲ 14	▲ 18	▲ 29

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6
北海道前年同期比	▲ 17	▲ 16	▲ 16	▲ 16	▲ 4	▲ 5	▲ 11	▲ 13	▲ 7	▲ 4	▲ 7	▲ 12	▲ 9	▲ 10	▲ 9	▲ 12	▲ 10

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6	26/9見通し
直前３ヵ月比	▲ 18	▲ 9	▲ 27	▲ 37	▲ 4	▲ 5	▲ 11	▲ 36	▲ 14	▲ 4	▲ 19	▲ 36	▲ 10	▲ 8	▲ 13	▲ 26	▲ 14	▲ 22

概　況

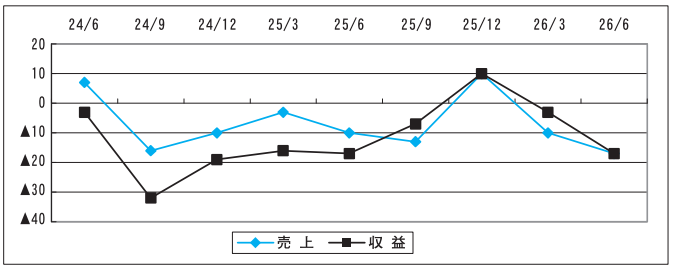
調査先製造業全体の業況を前年同期（25年４～６月）と比較してみますと、売上で「増加」した先23%、「変らず」の先37%、「減少」した先40%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲17となり、前回調査より７ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先23%、「変らず」の先37%、「減少」した先40%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲17となり、前回調査より14ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

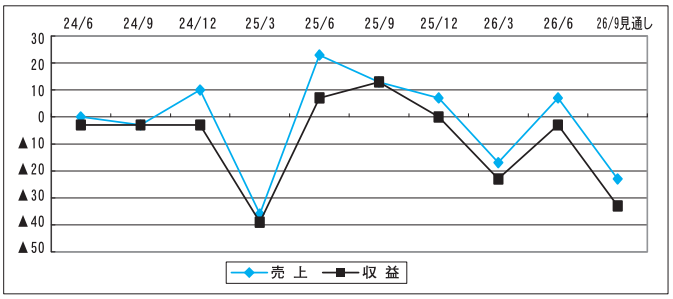
		増加	変らず	減少	ＤＩ値
売上	前回（26/３）	8	11	11	▲ 10
	今回（26/６）	7	11	12	▲ 17
収益	前回（26/３）	8	13	9	▲ 3
	今回（26/６）	7	11	12	▲ 17

前年同期比　　ＤＩ値図表



調査時期	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6
売　上	7	▲ 16	▲ 10	▲ 3	▲ 10	▲ 13	10	▲ 10	▲ 17
収　益	▲ 3	▲ 32	▲ 19	▲ 16	▲ 17	▲ 7	10	▲ 3	▲ 17

直前３ヵ月比　　ＤＩ値図表



調査時期	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6	26/9見通し
売　上	0	▲ 3	10	▲36	23	13	7	▲17	7	▲ 23
収　益	▲ 3	▲ 3	▲ 3	▲39	7	13	0	▲23	▲ 3	▲ 33

動　向

【前年同期との比較】

売上、収益とも悪化しました。

内訳をみますと、その他は改善、木材製品・建設関連はほぼ横ばいですが、食料品が大幅な悪化となっています。

【直前３ヵ月との比較】

売上、収益とも改善しました。

【今後３ヵ月の見通し】

売上、収益とも悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「原材料の確保ができており、値上を抑えられているが、世界情勢不安定化が長期に及ぶことを懸念している」、「人材を確保しても短期で離職してしまう」、「後継者不足、事業者の減少に原材料高騰が重くのしかかる」といったものがありました。

直前３ヵ月比調査の業種別状況（ＤＩ値による）　（%）

項　目		全　体	食料品	木材製品	建設関連	その他
売上額	１月～３月と比較	7	▲ 25	63	0	▲ 17
	７月～９月の見通し	▲ 23	▲ 38	▲ 13	0	▲ 50
収　益	１月～３月と比較	▲ 3	▲ 63	63	▲ 13	0
	７月～９月の見通し	▲ 33	▲ 63	▲ 13	▲ 25	▲ 33
販売価格	１月～３月と比較	57	50	50	63	67
	７月～９月の見通し	37	38	25	38	50
原材料価格	１月～３月と比較	77	75	63	75	100
	７月～９月の見通し	67	50	50	75	100
原材料在庫	１月～３月と比較	10	38	0	0	0
	７月～９月の見通し	6	25	0	0	0
資金繰	１月～３月と比較	▲ 17	▲ 38	▲ 13	▲ 13	0
	７月～９月の見通し	▲ 14	▲ 25	▲ 13	▲ 13	0

概　況

調査先卸売業全体の業況を前年同期（25年４～６月）と比較してみますと、売上で「増加」した先18%、「変らず」の先59%、「減少」した先23%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲５となり、前回調査より９ポイント改善しました。

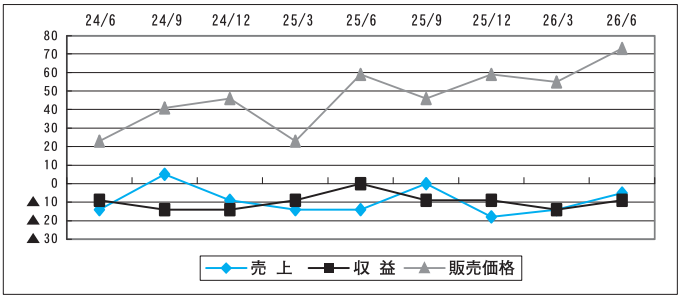
収益は「増加」した先18%、「変らず」の先55%、「減少」した先27%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲９となり、前回調査より５ポイント改善しました。

販売価格は「増加」した先73%、「変らず」の先27%、「減少」した先０%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は73となり、前回調査より18ポイント上昇しました。

調査回答数（前年同期比）

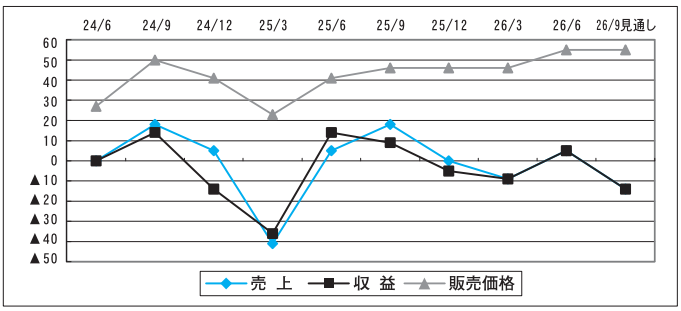
		増加	変らず	減少	ＤＩ値
売上	前回（26/３）	5	9	8	▲ 14
	今回（26/６）	4	13	5	▲ 5
収益	前回（26/３）	4	11	7	▲ 14
	今回（26/６）	4	12	6	▲ 9
販売価格	前回（26/３）	13	8	1	55
	今回（26/６）	16	6	0	73

前年同期比　　ＤＩ値図表



調査時期	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6
売　上	▲ 14	5	▲ 9	▲ 14	▲ 14	0	▲ 18	▲ 14	▲ 5
収　益	▲ 9	▲ 14	▲ 14	▲ 9	0	▲ 9	▲ 9	▲ 14	▲ 9
販売価格	23	41	46	23	59	46	59	55	73

直前３ヵ月比　　ＤＩ値図表



調査時期	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6	26/9見通し
売　上	0	18	5	▲41	5	18	0	▲ 9	5	▲ 14
収　益	0	14	▲14	▲36	14	9	▲ 5	▲ 9	5	▲ 14
販売価格	27	50	41	23	41	46	46	46	55	55

動　向

【前年同期との比較】

売上、収益は改善、販売価格は上昇しました。

内訳をみますと、食料品は悪化していますが、建設関連、その他が全般的に改善しています。

【直前３ヵ月との比較】

売上、収益は改善、販売価格は上昇しました。

【今後３ヵ月の見通し】

売上、収益は悪化、販売価格は横ばいの見通しです。

調査員のコメントには、「生産状況は好況かつ販売価格も上昇傾向にあり、採算ベースに乗ってきている」、「人件費増加、人手不足対策による経費増加が今後の負担として見込まれる」といったものがありました。

直前３ヵ月比調査の業種別状況（ＤＩ値による）　（%）

項　目		全　体	食料品	建設関連	その他
売上額	１月～３月と比較	5	0	0	14
	７月～９月の見通し	▲ 14	▲ 17	▲ 22	0
収　益	１月～３月と比較	5	17	0	0
	７月～９月の見通し	▲ 14	▲ 33	0	▲ 14
販売価格	１月～３月と比較	55	17	78	57
	７月～９月の見通し	55	17	67	71
仕入価格	１月～３月と比較	64	17	89	71
	７月～９月の見通し	64	17	78	86
在　庫	１月～３月と比較	▲ 5	▲ 33	0	14
	７月～９月の見通し	▲ 14	▲ 33	▲ 11	0
資金繰	１月～３月と比較	▲ 27	▲ 17	▲ 44	▲ 14
	７月～９月の見通し	▲ 18	▲ 17	▲ 22	▲ 14

概　況

調査先小売業全体の業況を前年同期（25年４～６月）と比較してみますと、売上で「増加」した先19%、「変らず」の先35%、「減少」した先46%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲27となり、前回調査より２ポイント改善しました。

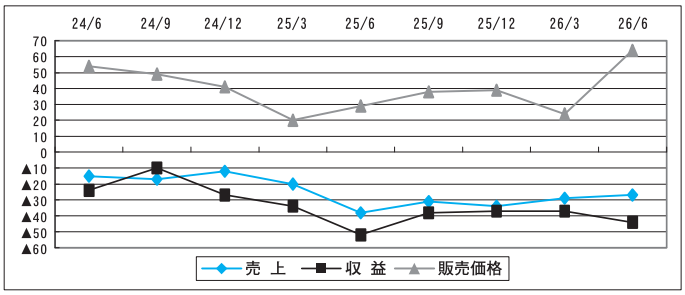
収益は「増加」した先15%、「変らず」の先26%、「減少」した先59%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲44となり、前回調査より７ポイント悪化しました。

販売価格は「増加」した先66%、「変らず」の先32%、「減少」した先２%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は64となり、前回調査より40ポイント上昇しました。

調査回答数（前年同期比）

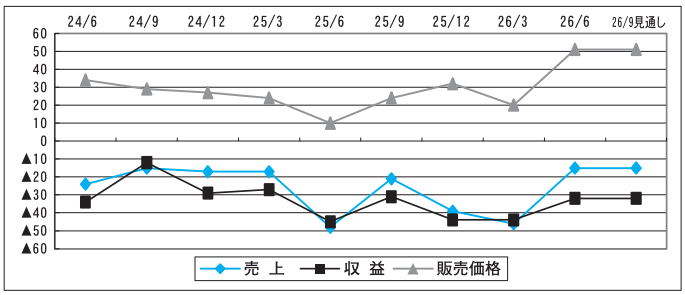
		増加	変らず	減少	ＤＩ値
売上	前回（26/３）	7	15	19	▲ 29
	今回（26/６）	8	14	19	▲ 27
収益	前回（26/３）	6	14	21	▲ 37
	今回（26/６）	6	11	24	▲ 44
販売価格	前回（26/３）	14	23	4	24
	今回（26/６）	27	13	1	64

前年同期比　　ＤＩ値図表



調査時期	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6
売　上	▲ 15	▲ 17	▲ 12	▲ 20	▲ 38	▲ 31	▲ 34	▲ 29	▲ 27
収　益	▲ 24	▲ 10	▲ 27	▲ 34	▲ 52	▲ 38	▲ 37	▲ 37	▲ 44
販売価格	54	49	41	20	29	38	39	24	64

直前３ヵ月比　　ＤＩ値図表



調査時期	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6	26/9見通し
売　上	▲24	▲15	▲17	▲17	▲48	▲21	▲39	▲46	▲15	▲ 15
収　益	▲34	▲12	▲29	▲27	▲45	▲31	▲44	▲44	▲32	▲ 32
販売価格	34	29	27	24	10	24	32	20	51	51

動　向

【前年同期との比較】

売上は改善、収益は悪化、販売価格は上昇しました。内訳をみますと、食料品は全般的に上昇、衣料品は全般的に横ばい、その他の売上・収益は悪化しています。

【直前３ヵ月との比較】

売上、収益は改善、販売価格は上昇しました。

【今後３ヵ月の見通し】

売上、収益、販売価格とも横ばいの見通しです。

調査員のコメントには、「来店客の固定化や減少が続いており、ＥＣやイベントでの顧客獲得を図る」、「受注は順調であるものの商材確保が難しい為、一見客は断っている状況」、「納期長期化により販売計画立案に苦慮している」などがありました。

直前３ヵ月比調査の業種別状況（ＤＩ値による）　（%）

項　目		全　体	衣料品	食料品	その他
売上額	1月～3月と比較	▲ 15	▲ 80	▲ 11	0
	7月～9月の見通し	▲ 15	▲ 60	0	▲ 18
収　益	1月～3月と比較	▲ 32	▲ 80	▲ 42	▲ 6
	7月～9月の見通し	▲ 32	▲ 60	▲ 37	▲ 18
販売価格	1月～3月と比較	51	0	63	53
	7月～9月の見通し	51	20	58	53
仕入価格	1月～3月と比較	59	▲ 60	84	65
	7月～9月の見通し	71	0	90	71
在　庫	1月～3月と比較	7	▲ 60	26	6
	7月～9月の見通し	7	▲ 40	16	12
資金繰	1月～3月と比較	▲ 39	▲ 100	▲ 32	▲ 29
	7月～9月の見通し	▲ 32	▲ 100	▲ 26	▲ 18

概　況

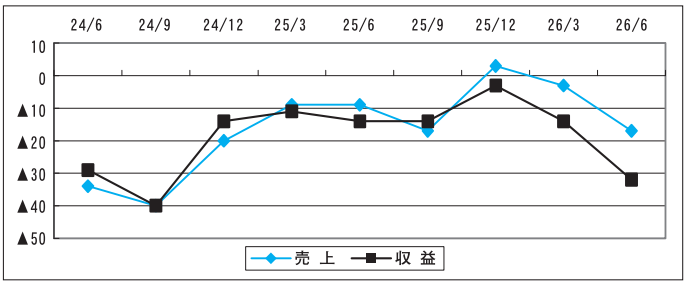
調査先建設業全体の業況を前年同期（25年４～６月）と比較してみますと、売上で「増加」した先23%、「変らず」の先37%、「減少」した先40%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲17となり、前回調査より14ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先11%、「変らず」の先46%、「減少」した先43%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲32となり、前回調査より18ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

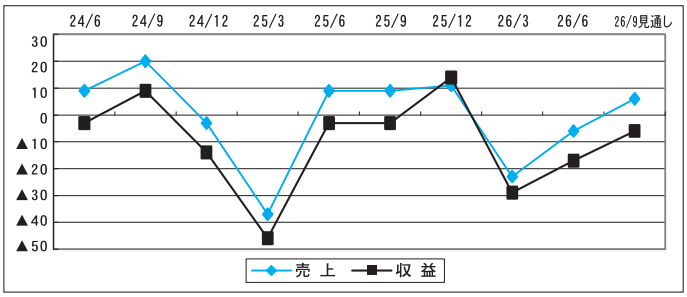
		増加	変らず	減少	ＤＩ値
売上	前回（26/３）	10	14	11	▲ 3
	今回（26/６）	8	13	14	▲ 17
収益	前回（26/３）	8	14	13	▲ 14
	今回（26/６）	4	16	15	▲ 32

前年同期比　　ＤＩ値図表



調査時期	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6
売　上	▲ 34	▲ 40	▲ 20	▲ 9	▲ 9	▲ 17	3	▲ 3	▲ 17
収　益	▲ 29	▲ 40	▲ 14	▲ 11	▲ 14	▲ 14	▲ 3	▲ 14	▲ 32

直前３ヵ月比　　ＤＩ値図表



調査時期	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6	26/9見通し
売　上	9	20	▲ 3	▲37	9	9	11	▲23	▲ 6	6
収　益	▲ 3	9	▲14	▲46	▲ 3	▲ 3	14	▲29	▲17	▲ 6

動　向

【前年同期との比較】

売上、収益とも悪化しました。

内訳のＤＩ値の推移は以下のようになっています。

・土木売上：前回▲14→今回± 0
・　同 収益：前回▲36→今回▲29
・建築売上：前回± 0→今回▲44
・　同 収益：前回± 0→今回▲50

【直前３ヵ月との比較】

売上、収益とも改善しました。

【今後３ヵ月の見通し】

売上、収益とも改善の見通しです。

調査員のコメントには、「公共工事が減少傾向にあり、稼働低調な見込み」、「入札による価格低下に加え、契約後の物価上昇の転嫁が難しい」、「資材価格が高騰し、入手も困難なため、コストと工期の監理が難しい」といったものがありました。

直前３ヵ月比調査の業種別状況（ＤＩ値による）　（%）

項　目		全　体	土　木	建　築	その他
売上額	1月～3月と比較	▲ 6	14	▲ 31	20
	7月～9月の見通し	6	29	▲ 25	40
施工高	1月～3月と比較	9	7	0	40
	7月～9月の見通し	17	29	0	40
収　益	1月～3月と比較	▲ 17	▲ 7	▲ 44	40
	7月～9月の見通し	▲ 6	7	▲ 31	40
請負価格	1月～3月と比較	37	29	50	20
	7月～9月の見通し	40	36	50	20
材料価格	1月～3月と比較	77	71	81	80
	7月～9月の見通し	83	79	94	60
在　庫	1月～3月と比較	3	0	6	0
	7月～9月の見通し	▲ 3	▲ 7	6	▲ 20
資金繰	1月～3月と比較	6	7	0	20
	7月～9月の見通し	▲ 9	▲ 7	▲ 13	0

概　況

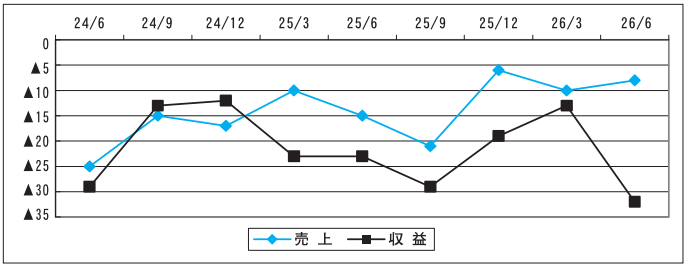
調査先サービス業全体の業況を前年同期（25年４～６月）と比較してみますと、売上で「増加」した先28%、「変らず」の先36%、「減少」した先36%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲８となり、前回調査より２ポイント改善しました。

収益は「増加」した先11%、「変らず」の先46%、「減少」した先43%で、そのＤＩ値（増加割合－減少割合）は▲32となり、前回調査より19ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

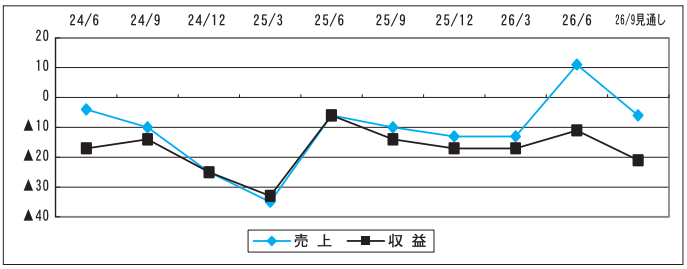
		増加	変らず	減少	ＤＩ値
売上	前回（26/３）	12	24	17	▲ 10
	今回（26/６）	15	19	19	▲ 8
収益	前回（26/３）	11	24	18	▲ 13
	今回（26/６）	6	24	23	▲ 32

前年同期比　　ＤＩ値図表



調査時期	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6
売　上	▲ 25	▲ 15	▲ 17	▲ 10	▲ 15	▲ 21	▲ 6	▲ 10	▲ 8
収　益	▲ 29	▲ 13	▲ 12	▲ 23	▲ 23	▲ 29	▲ 19	▲ 13	▲ 32

直前３ヵ月比　　ＤＩ値図表



調査時期	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6	26/9見通し
売　上	▲ 4	▲10	▲25	▲35	▲ 6	▲10	▲13	▲13	11	▲ 6
収　益	▲17	▲14	▲25	▲33	▲ 6	▲14	▲17	▲17	▲11	▲ 21

動　向

【前年同期との比較】

売上は改善、収益は悪化しました。

内訳をみますと、理容美容の売上・収益は改善しましたが、他は横ばいもしくは悪化しました。

【直前３ヵ月との比較】

売上、収益ともに改善しました。

【今後３ヵ月の見通し】

売上、収益とも悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「受注状況は安定しているが、仕入価格上昇の対応に苦慮している」、「自治体からの作業依頼も多く、価格転嫁がスムーズにできている」、「新事業や夜間帯の営業などの新しい取組みを行っており、集客についても順調に推移している」といったものがありました。

直前３ヵ月比調査の業種別状況（ＤＩ値による）　（%）

項　目		全　体	理容美容	車両関係	そ の 他
売上額	１月～３月と比較	11	0	14	13
	７月～９月の見通し	▲ 6	0	▲ 29	3
収　益	１月～３月と比較	▲ 11	▲ 22	7	▲ 17
	７月～９月の見通し	▲ 21	▲ 11	▲ 29	▲ 20
料金価格	１月～３月と比較	32	11	57	27
	７月～９月の見通し	28	11	36	30
材料価格	１月～３月と比較	76	56	100	70
	７月～９月の見通し	68	67	86	60
資金繰	１月～３月と比較	▲ 15	0	▲ 14	▲ 20
	７月～９月の見通し	▲ 15	0	▲ 14	▲ 20

経営上の問題点・経営施策　　調査企業１８１社（複数回答）

経営上の問題点　【複数回答】

	1位	2位	3位
製　造　業	原材料高 60.0%	売上の停滞・減少 30.0%	人手不足 30.0%
卸　売　業	売上の停滞・減少 31.8%	利幅の縮小 31.8%	仕入先からの値上げ要請 31.8%
小　売　業	売上の停滞・減少 58.5%	商圏人口の減少 39.0%	利幅の縮小 26.8%
建　設　業	材料価格の上昇 74.3%	人手不足 54.3%	売上の停滞・減少 42.9%
サービス業	材料価格の上昇 52.8%	売上の停滞・減少 35.8%	人手不足 30.2%

経営施策　　【複数回答】

	1位	2位	3位
製　造　業	経費を節減する 53.3%	販路を広げる 40.0%	新製品・技術を開発する 33.3%
卸　売　業	経費を節減する 63.6%	情報力を強化する 59.1%	販路を広げる 45.5%
小　売　業	経費を節減する 61.0%	品揃えを改善する 31.7%	売れ筋商品を取扱う 29.3%
建　設　業	人材を確保する 60.0%	経費を節減する 45.7%	販路を広げる 25.7%
サービス業	経費を節減する 45.3%	人材を確保する 32.1%	販路を広げる 26.4%

【調査要領】

１．調 査 地 域　　北見地方１市４町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
２．調 査 時 点　　２０２６年　６月
　　２０２６年　４月～　６月期の実績および見込み
　　２０２６年　７月～　９月期の見通し
３．調査対象企業　　当金庫お取引先１８１社（任意抽出）
　　回答企業数　　１８１社
　　回　答　率　　１００％
４．調 査 方 法　　調査表による訪問聞き取り調査
　　調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
５．業種別回答企業数

製　造　業	卸　売　業	小　売　業	建　設　業	サービス業	合　　計
３０	２２	４１	３５	５３	１８１

６．分 析 方 法
　各質問項目を１００分比に換算し、パーセント（％）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（ＤＩ値）」で分析を行いました。



オホーツク圏経済情勢報告(令和８年４月判断)概況

総括判断

前回（８年１月判断）	前回比較	今回(８年４月判断)
持ち直しつつある	⇨	**持ち直しつつある**

※ 判断の据え置きは、令和５年７月判断以降、**12期連続**

各項目の判断

	前回（８年１月判断）	前回比較	今回(８年４月判断)
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	⇨	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある
観　　光	緩やかに回復している	↗	回復している
雇　　用	緩やかに持ち直しつつある	⇨	緩やかに持ち直しつつある
公共事業	前年を下回る	↗	前年を上回る
住宅着工	前年を下回る	⇨	前年を下回る

先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

(注)８年４月判断は、前回１月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

北海道財務局北見出張所調べ